

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [赤穂市立御崎小学校] 担当教諭名 [西村 博子] (5年 49名)
 交流相手国 [オーストラリア]
 海外学校名 [Urquhart Park Primary School] 担当教諭名 [Daniel Paxton]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	アートマイルでつながろう	10
	外国語活動	英語で自己紹介をしよう	4
	図工	大きな絵を描こう	4

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	大好き！私たちの町
絵に込めたメッセージ	自分達の国や地域のよさを再発見しながら、愛着を深めるとともに、遠く離れた国や町のよさや自然・文化を知り、異文化を受け入れ、幅広い視野であたたかい交流を図りたいと考えた。絵の中央には、手と手をつないだ様子を描き、子ども達の思いがながっていることを表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議をすることで、相手の国の様子や子ども達の生活の様子が見られたことはよかった。 英語での自己紹介をすることで、どの子も新しいコミュニケーションの楽しさを味わうことができた。 国が違って、一つの作品を完成させた達成感は大きい。 もっと相手の国について調べたいという意欲が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションが英語なので、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることが難しかった。 テーマを決める前に、じっくりと情報交換できればよかった。 学校の設備の関係で、テレビ会議が継続してもできなかったことが残念である。 年度当初のカリキュラムにきちんと組み込んでおけば、より計画的な交流ができたと思う。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> 学校便りや学年便りで保護者に知らせた。 できた作品を全校児童の前で披露した。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議の様子は、オープンスクールで保護者の方にも見ていただけた。学校での国際交流の取り組みを理解していただけたとともに、家庭でも話題にあがったようである。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	<ul style="list-style-type: none"> ALTからオーストラリアの話を聞いて、交流への関心を高める。 英語で自己紹介する仕方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTの写真や話を通して、季節や文化の違いを知り、「もっと知りたい」という意欲を高めることができた。 英語で表情豊かに自己紹介することができ、コミュニケーションの幅が広がった。 	外国語活動 4
情報収集	10月	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方との交流を通して、自分達の地域のよさを発見し、オーストラリアの友達に知らせたいことを出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分達の地域に改めて目を向けることができ、愛着を深めた。どんなことを紹介したいか、いろいろな意見が出せた。 	総合5
テーマ検討	11月	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発案で、絵の構図を決める。 テレビ会議を行い、意見交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が描いた絵をもとに、「赤穂らしさ」が出る図案を考えた。 地域の特色や日本の昔遊びを紹介することに意欲的に取り組んだ。相手校の子ども達の歌を聞いて、異文化交流を楽しんだ。 	総合5
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 下書きをして、グループごとに色塗りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 分担を決めて、グループごとに丁寧に色を塗っていった。絵が完成に近づくことを喜びながら生き生きと取り組んだ。 	図工4
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> 共同制作した絵の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> 全校の前で、完成した壁画を披露し、活動の様子を報告した。達成感を味わいながら、学習の成果を確かめることができた。 	特別活動 (修業式)

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	4	5・4・③・2・1	相手の国にはない自分達の国や地域のよさについて改めて考えるきっかけとなった。
異文化の理解	5	5・4・③・2・1	遠く離れた国の様子や文化について興味をもち始めることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	3	5・④・3・2・1	できるだけ外国語を使って、自己紹介しようという姿勢が伺えた。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・4・③・2・1	インターネット中心の情報収集であったが、児童は意欲的であった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	5・④・3・2・1	協同作業などを多く盛り込んだことで、協力する姿が多く見られた。相手校の様子についても真剣に耳を傾けていた。
協働する力 (役割分担・協力)	2	⑤・4・3・2・1	絵を塗るときや英語でのスピーチのとき、グループごとに丁寧に取り組んだ。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	自分達の地域のよさを伝えるために、楽しみながら追究していた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・4・③・2・1	絵を描くだけでなく、交流においては言葉や表情などにも気を付けながら表現方法を工夫していた。
作品を鑑賞する力		5・4・③・2・1	短い時間ではあったが、全校の児童と共に鑑賞できたのはよかった。